

## 9. 第7 - 8回高木レクチャーについて

高木貞治先生の名を冠した講演会「高木レクチャー」は、世界から卓越した数学者を日本に招き、専門分野を越えた数学者や若手研究者・大学院生を主な対象とし、創造のインスピレーションを引き起こすような気概に満ちた研究総説講演を行っていただき、日本発の新たな数学の創造に寄与することを目的としています。高木レクチャーをもとにした研究総説は、査読を経て Japanese Journal of Mathematics (JJM) に掲載されることになっています。

この趣旨に基づき 2006 年 11 月に第 1 回高木レクチャーが京都大学数理解析研究所で開催されました。以来、7 回の高木レクチャーが開催され、招待講演者の総数は 22 名になっています。

この数学通信では第 7 回高木レクチャーの報告と、今秋開催する第 8 回の予定をお知らせいたします。

### 1. 第 7 回高木レクチャーの報告

第 7 回高木レクチャー (2009 年 11 月 21 日 (土) - 23 日 (祝・月), 東京大学大学院数理解析研究科) において、M. Harris (パリ第 7 大学):

“Arithmetic applications of the Langlands program (ラングランズ・プログラムの数論的応用)”、

M. Hopkins (ハーバード大学):

“The Kervaire invariant problem (ケルヴェア不変量問題)”、

U. Jannsen (レーゲンスブルク大学):

“Weights in arithmetic geometry (数論幾何における重さの概念)”、

C. Khare (カリフォルニア大学ロサンゼルス校):

“Serre's conjecture and its consequences (セール予想とその帰結)”、

J. McKernan (マサチューセッツ工科大学):

“Mori dream spaces (森ドリーム空間)”

の講演が行われました。

今回は、高木先生の没後 50 年に当たり、日本数学会主催の「高木貞治 50 年祭記念事

業」とも連動して、東大数理と共催で開催されました。招待講演者は通常 2 ~ 4 名としているところ、今回は 5 名として、分野も整数論の方を多くお招きいたしました。

当日には、予稿の高木ブックレット (iv + 157 pages) が参加者に配布されました。その最終版の研究総説は専門家による査読を経て、2010 年 3 月に発刊された JJM 第 5 巻 1 号に掲載されています (M. Hopkins の最終版の研究総説は、第 5 巻 2 号掲載予定)。

講演のビデオは東大数理 Video Archives プロジェクトチームにより撮影編集が行われ、web 上で公開しております (下記の高木レクチャーホームページをご覧ください)。

### 2. 第 8 回高木レクチャーの予定

日 時: 2010 年 11 月 23 日 (祝・火)

場 所: 京都大学数理解析研究所

講演者: Alain Connes

(コレージュ・ド・フランス, IHÉS)

Sergei Gukov

(カリフォルニア工科大学)

組織委員: 小野薫, 河東泰之, 小林俊行,  
斎藤毅, 中島啓

主 催: 日本数学会,  
京都大学数理解析研究所

当日は、各講義の概要をブックレットにて配布する予定です。

なお、この時期の京都は、観光客で大変混みますので、宿泊の予約を早めにされますようお願いいたします。

高木レクチャーの HP

[http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi\\_jp/](http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi_jp/)

で最新情報を掲載いたします。

数学会会員は JJM の各冊子を会員割引価格 7500 円 (+ 税 375 円) で日本数学会事務局より購入できます。各冊子の目次は JJM の web page

<http://www.springer.jp/JJM/>  
をご覧ください。

(小林俊行 記)